

# 花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ冒険記2

国立市立国立第七小学校

平成26年12月19日 NO.67 (167)



モンタ博士「花ちゃん、オー君、<sup>げんき</sup>元気かい。2学期もあと少しだね。まとめのお勉強に<sup>べんきょう</sup>がんばってください。ところで、今日は二人にリンゴとカキをあげよう。」

花ちゃん「ありがとうございます。<sup>わたし</sup>私、くだものだいすき！」

オー君「リンゴとカキの<sup>かんさつ</sup>観察をするぞ。といっても<sup>た</sup>食べることだけど…まあ、<sup>た</sup>食べるということは<sup>ごかん</sup>五感を使う<sup>つか</sup>観察だから、<sup>べんきょう</sup>勉強にもなるし…いただきます。」

モンタ博士「そんなにあわてないで、<sup>た</sup>食べる<sup>まえ</sup>前によく<sup>かんさつ</sup>観察してみようよ。くだもの<sup>やさい</sup>野菜は、<sup>た</sup>食べ物としてはよく<sup>み</sup>見ているだろ。でも、くだもの<sup>やさい</sup>野菜だって<sup>しょくぶつ</sup>植物だよ。ね。<sup>しょくぶつ</sup>植物のどの<sup>ぶぶん</sup>部分を<sup>た</sup>食べているか<sup>かんが</sup>考えたことあるかな。」

花ちゃん「そういえば、ミカンやイチゴで<sup>た</sup>食べているところは、<sup>かじつ</sup>果実のどこなのかな。」

オー君「そういえば、タマネギを<sup>よこ</sup>横に<sup>き</sup>切ると、なぜ<sup>わ</sup>わっかになるのかな。<sup>かんが</sup>考えてみると、よく<sup>わ</sup>分からないことばかりだな。」

モンタ博士「そうだろう。<sup>のやま</sup>野山に行かないと<sup>しょくぶつかんさつ</sup>植物観察はできないと思っ<sup>おも</sup>ているだろう。でも、そうではないよ。<sup>かんさつ</sup>観察する<sup>ざいりょう</sup>材料はおうちの<sup>なか</sup>中にもたくさんあるのさ。」



オー君 「なるほど、その通りだ。今は外が寒いし、草や花もねむっている時だから、  
くだものや野菜の観察もおもしろそうだな。」

花ちゃん 「『こたつ』でできる植物観察ということですね。晩ごはんの後のデザートを食べながらでも植物観察はできるんだ。」

モンタ博士 「野外で見る植物の果実はほとんどが小さいものばかりだろ。でも、くだものや野菜の果実は、大きくて観察しやすいよね。それに、おうちの人といっしょに観察するのも楽しいね。果実に入っていた種をまいて、芽の出る様子を観察したり、鉢に植えたり、春を待って花のつくりを調べれば、植物のようすもよく分かって楽しいね。」

花ちゃん 「それで、モンタ博士は、リンゴとカキを持って来てくれたんですね。」

オー君 「食べたいな、という思いはちょっとガマンして、じっくりと見てみよう。」

モンタ博士 「ここに持って来たのは、リンゴとカキだよ。さあ、花ちゃん・オー君。  
よーく、よーく観察してごらん。」

花ちゃん 「でも、どうやって観察すればいいのかな。」 つづく・・・。